

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2024年12月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2024年12月9日～12月31日
- 調査対象 200社
- 回答企業 126社
- 回収率 63.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。
ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。
なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 仕入単価：(下落) - (上昇)

販売単価：(上昇) - (下落) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の12月の状況を見ると業況DIは、前月より6.7ポイント改善の▲15.1となった。
2017年9月以来88ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3カ月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲21.4、当月と比べ6.3ポイントの悪化が見込まれる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2024年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	先行き見通し 2025年1月～ 2025年3月
業況	▲24.4	▲18.7	▲24.2	▲21.6	▲21.8	▲15.1	▲21.4
売上	▲17.8	▲12.3	▲18.8	▲13.1	▲8.3	▲5.5	▲14.3
採算	▲27.4	▲24.5	▲25.0	▲24.6	▲27.8	▲23.0	▲23.8
仕入単価	▲61.5	▲57.6	▲60.9	▲66.9	▲66.9	▲69.0	▲54.8
販売単価	35.6	31.0	27.3	34.7	32.3	41.2	30.1
従業員	31.8	31.7	31.3	31.6	31.6	33.3	34.1
資金繰り	▲11.9	▲13.0	▲15.6	▲13.1	▲13.5	▲11.2	▲16.6

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2024年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	先行き見通し 2025年1月～ 2025年3月
建設	▲35.5	▲35.5	▲29.0	▲29.0	▲36.3	▲23.3	▲26.6
製造	▲29.4	▲22.8	▲36.7	▲25.0	▲32.2	▲12.9	▲25.8
卸売	▲20.7	3.2	▲3.4	▲15.4	▲10.7	▲3.6	▲7.1
小売	▲20.0	▲21.0	▲16.6	▲16.7	▲15.8	▲10.6	▲10.5
サービス	▲9.6	▲17.4	▲35.0	▲17.4	▲4.6	▲27.7	▲38.8

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	・業況には変化ないが、工期の長期化により資金繰りに影響あり。本年 11 月より支払手形廃止とし全て現金支払いへと変更したため、上記工期の長期化と相まって一時的に資金繰りに影響が出ている。（総合工事） ・新たな事業が本格的に始まってきたが本番までには時間がかかりそう。工事発注時期が北海道の季節に見合っていないため、業者のコストアップになっている。何とかしてほしい。（設備・その他） ・大工不足による作業工程遅延回避のため、大工の外注依頼や他現場の着工日の後ろ倒しするなど対応に苦慮している。第3四半期までの売上高は前年同月比 75%と低位で推移していたが、受注が徐々に回復し乖離幅が縮小しているが、通期売上高は前年比 95%の減収となる見通しであり業況は依然厳しい。（建築業） ・木材・合板は不変だが、キッチン等住設機器は一部単価上昇あり。売上げは増加。来年度も維持できるよう要努力。（建築業）
製造業	・久しぶりの札幌イベント参加で当初の予定を上回る売上が出来たが、設備の老朽化もあり、現状不便なものから導入して対応する予定。（食料品） ・資材の値上げ・人件費の上昇・印刷需要の落ち込みで業界全体的にコロナの時よりも厳しく感じる。（印刷・出版） ・年末から春にかけて例年繁忙期を迎えるが、今年は受注が伸び悩み売り上げ低下が会社の業況を悪化させている。海外市場では中国ディーラーからの受注減も大きな影響を与えている。（家具・木材） ・需要不足が半年後に顕在化するかもしれない。仕事を集めている。（金属窯業他）
卸売業	・特に小売店で季節商品(防寒商品)の持越し在庫があることと、物価高による消費の低迷の影響もあり、商品回転数が伸び悩んでいる。また、人材不足により業務負担の増加も見られるため、今後は市場動向をよりしっかり分析しながら商品企画を行い、幅広く人材の採用に向けた環境作りと業務改革に取り組む。（繊維・衣服等） ・物価高騰のため買い控えの影響による売上減が続いている。新商品を検討中。（食料品） ・原材料上昇による経費や仕入単価・人件費の上昇など利益追求の意識を高めていかなければいけない。今月の業況は例年並みといえる。（機械鋼材） ・当月の業況は前年同期と比べ売上げは増加。過去 3 か年の期首から当月までの売上高の累計の平均と比べた場合、当年は上回っており、非営利団体からの大口の契約を獲得した要因があるも業績の底打ち感がみられる。（その他）
小売業	・12 月に入ったが来店客数が非常に少ない。季節も真冬になりアウター(防寒)衣料が動くところだが来店客が全くなく売上が厳しい状況。クリスマスギフト及び成人式用スーツの需要もない。円安の影響でしょうか。（衣服身回品） ・今月は先月と比較して来店数減少。冬のイルミネーション効果で夕方以降は回復。円安と景気の影響が大きく、販売単価の上昇が逆効果。節約志向である。（食料品） ・食品・エネルギー関係の値上げが消費に影響していると感じている。（その他） ・例年、年末にかけて雪の影響もあり、客足が伸びず売上は減少する傾向にある。中古車市場の活況に伴い去年よりは業況が好転すると予想されるが、人件費やエネルギー費用の高騰を考えると依然厳しい状況が続くと予想している。（自動車）
サービス業	・依然としてスタッフ不足が継続的。仕入れ単価の高騰は販売価格に転嫁できていない。人件費が上がった分同じく価格に転嫁できていない。1 月は昨年同様並みの売上は確保出来そう。（理美容・クリーニング） ・旭川近郊においても、外国資本によるリゾート開発(別荘・ホテル)が活発化しており上手く受注に繋がられているため、売上・採算ともに増加している。（その他） ・降雪期に入り、狭隘道路に運行支障となるケースもある。除排雪にバス路線は優先度を上げていただきたい。合わせて、バス停周りに雪山を作らないように配慮願いたい(乗客が雪山を乗り越えて乗降しなければならないことは非常に危険)。（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	売上 DI4.0 ポイント改善、採算 DI9.1 ポイント改善、仕入単価 DI4.0 ポイント悪化、販売単価 DI3.6 ポイント悪化、資金 DI4.4 ポイント悪化、従業員 DI9.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 13.0 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、建築業 8 ポイント悪化、総合工事 14 ポイント、設備・その他 33 ポイント改善となった。昨年より完工高は増加しているが、資機材価格及び下請施工費の高騰により利益を圧迫しているとの声も寄せられている。
製造業	売上 DI6.5 ポイント改善、採算 DI16.1 ポイント改善、仕入単価 DI16.1 ポイント改善、販売単価 DI6.4 ポイント改善、資金 DI12.9 ポイント改善、従業員 DI9.7 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 19.3 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、食料品 13 ポイント悪化、印刷・出版 7 ポイント、家具・木材 56 ポイント、金属窯業他 11 ポイント改善となった。労務費高騰(最低賃金急騰による労働時間短縮の影響含む)との声も寄せられている。
卸売業	売上 DI 横ばい、採算 DI3.5 ポイント改善、仕入単価 DI7.2 ポイント悪化、販売単価 DI14.3 ポイント改善、資金 DI3.6 ポイント改善、従業員 DI3.6 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 7.1 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、繊維・衣服等、機械鋼材横ばい、食料品 17 ポイント、その他 14 ポイント改善となった。現場従業員退職者補充のため、現在求人の募集を行っているが、なかなか応募が来ないとの声も寄せられている。
小売業	売上 DI10.6 ポイント改善、採算 DI5.3 ポイント改善、仕入単価 DI10.5 ポイント悪化、販売単価 DI21.0 ポイント改善、資金 DI5.3 ポイント悪化、従業員 DI5.3 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 5.2 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、衣料品、食料品、その他横ばい、自動車 25 ポイント改善となった。客数は前年並みに来店しているものの、販売点数が低下。特に高騰気味の野菜が不調との声も寄せられている。
サービス業	売上 DI6.0 ポイント悪化、採算 DI16.6 ポイント悪化、仕入単価 DI12.2 ポイント悪化、販売単価 DI10.5 ポイント改善、資金 DI0.4 ポイント悪化、従業員 DI5.6 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 23.1 ポイント悪化となった。業種別では、飲食、整備業横ばい、理美容・クリーニング 100 ポイント、ホテル・旅館 35 ポイント、その他 20 ポイント、運送 30 ポイント悪化となった。インバウンド等で若干の好調も世界情勢でいつ激変するか見通せず。仕入れ単価上昇と相まって見通し不明との声も寄せられている。